

1 概況

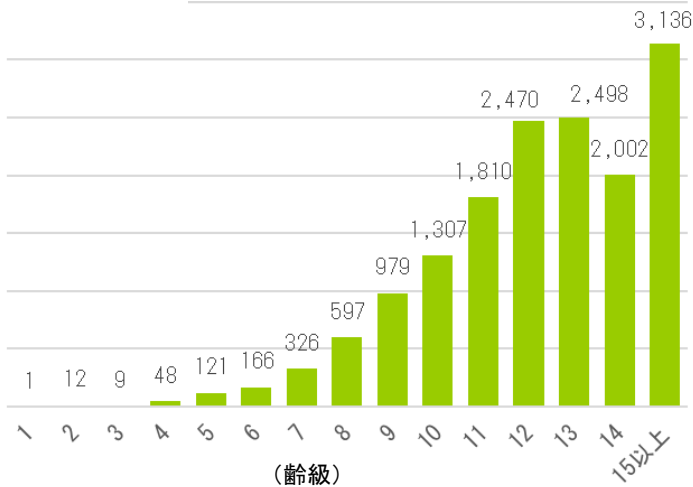
(1) 森林の現況

管内の国有林と民有林を合わせた森林面積は78,042haで、地域全体の77.3%を占めている。

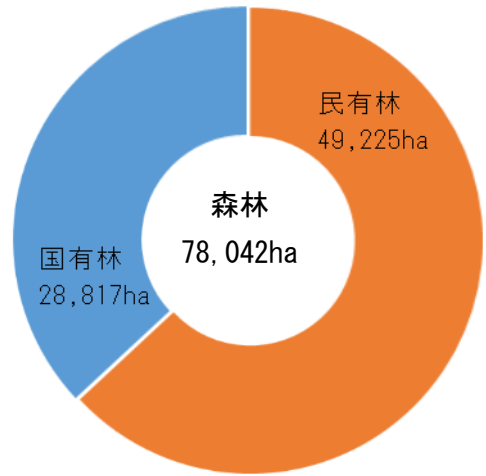
民有林面積49,225haのうち人工林は15,480ha（人工林率31.4%）で、年齢構成は高齢林分に偏っている。

【民有林の人工林年齢別面積】

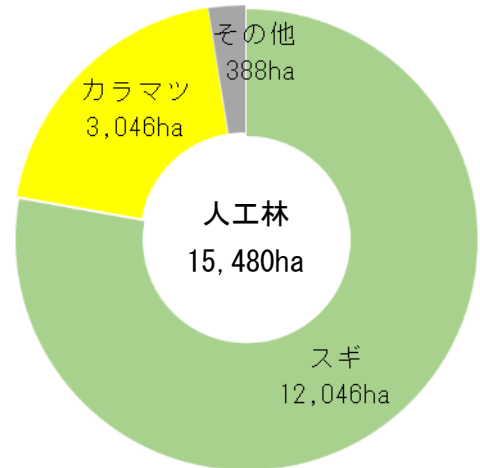
(単位：ha)



【民有林・国有林面積】



【民有林の人工林樹種別面積】



【市町村別森林面積】

(単位：ha、%)

区分	森林面積	森林率	内 訳					
			国有林面積	計	人工林	人工率	天然林	その他
市町村								
中野市	4,597	41.0	0	4,597	2,439	53.1	2,085	73
飯山市	12,114	59.8	2,372	9,742	3,022	31.0	6,597	123
山ノ内町	23,445	88.1	5,581	17,864	3,555	19.9	13,902	407
木島平村	8,122	81.8	5,575	2,547	1,466	57.5	1,059	22
野沢温泉村	4,673	80.6	1,492	3,181	1,303	41.0	1,854	24
栄村	25,091	92.4	13,797	11,294	3,695	32.7	7,327	272
計 (A)	78,042	77.3	28,817	49,225	15,480	31.4	32,824	921
構成比	100.0		36.9	63.0				
県	県合計 (B)	77.9	369,796	687,107	334,851	48.7	333,457	18,798
	構成比	100.0	35.0	65.0				
県に占める割合 (A/B)	7.4		7.8	7.2	4.6		9.8	4.8

(注) 1 長野県民有林の現況 (令和4年9月1日現在) による。(北信地域総面積：100,945ha)

2 四捨五入のため、計と内訳の合計が一致しない場合がある。

(2) 林産物の生産状況

管内の林産物生産額は、約 14 億 4 千万円（前年比 99%）で、内訳は木材が 3 億 3 千万円、きのこ類が 10 億 6 千万円と、きのこ類が大半（約 7 割）を占めている。

【林産物の生産額推移】

（単位：生産額=千円）

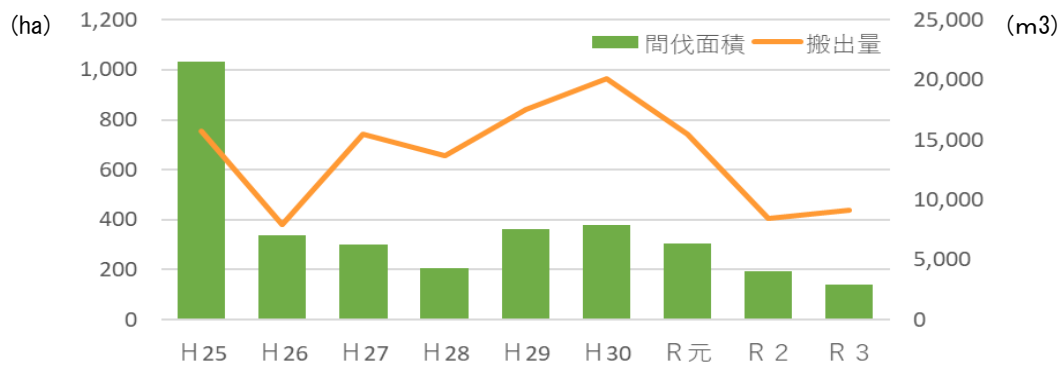
種 別	R 元年		R2 年		R3 年		
	生産量	生産額	生産量	生産額	生産量	生産額	
木 材 (m ³)	20,146	179,344	17,477	250,199	17,297	325,000	
きのこ (t)	生しいたけ	678	656,711	629	603,648	607	546,790
	なめこ	1,299	530,823	1,120	538,722	1,171	515,700
	小 計	1,977	1,187,534	1,749	1,142,370	1,778	1,062,490
山 菜 類(t)	5	4,619	12	7,144	6	3,351	
林業用苗木 (千本)	460	53,675	433	57,521	356	47,604	
計		1,425,172		1,457,234		1,438,445	

(注)山菜類はわらび、ねまがりたけ、こしあぶら等

2 みんなの暮らしを守る森林づくり

(1) 計画的な間伐等の推進

管内の人工林 15,480ha のうち、間伐対象（3～12 齢級）は 7,832ha（約 51%）で、計画的な搬出間伐等の実施に加え、今後は主伐・再造林を推進する必要がある。



区 分	長野県
間伐計画 (H23 年度～R4 年度) (ha)	202,800
間伐実績 (H23 年度～R3 年度) (ha)	161,150
進 捗 率 (%)	79.5

区 分	実 績 H23～H29	H30	R 元	R2	R3	計	
管 内	間伐面積 (ha)	4,546	380	305	195	141	5,567
	搬出量 (m ³)	92,967	21,318	15,506	8,414	9,175	147,379
長 野 県	間伐面積 (ha)	123,917	10,992	9,652	8,822	7,767	161,150
	搬出量 (m ³)	1,307,712	187,004	141,068	134,280	140,583	1,910,647
	進捗率 (%)	61.1	66.5	71.3	75.6	79.5	79.5

(注)進捗率は、県間伐計画（202,800ha）に対する比率

(2) 災害に強い森林づくりの推進

ア 治山事業

平成 23 年 3 月の長野県北部地震で、栄村等では土石流・山腹崩壊・雪崩・落石等により甚大な山地災害が発生し、治山事業を計画的に実施し早期復旧に努めてきた。

特に大規模な山腹崩壊と河川埋塞が発生した栄村中条川では、令和 3 年度末までに第 1 期の全体復旧計画に基づく工事が完了し、令和 4 年度から第 2 期の全体復旧計画に基づく復旧工事を進めている。

また、平成 29 年 5 月には飯山市井出川で融雪に伴う大規模な山腹崩壊が発生したため、治山事業を導入し順次復旧工事を進めている。



[栄村中条川 災害発生直後の状況]



[栄村中条川 治山事業実施状況]



[飯山市井出川 災害発生直後の状況]



[飯山市井出川 治山事業実施状況]

【治山事業の実績と計画】

事業名	令和 4 年度実績		令和 5 年度計画		前年比 (%)
	箇所数	事業費 (千円)	箇所数	事業費 (千円)	
復旧治山	(2) 4	(259,424) 328,471	(1) 3	(30,000) 190,000	57.8
山地災害重点地域総合対策	1	0	(1) 2	(62,007) 109,307	皆増
奥地保安林保全緊急対策	(1) 1	(60,005) 60,005			皆減
緊急機能強化・老朽化対策	2	24,392	(1) 2	(32,609) 81,009	332.1
保安林改良	(1) 1	(6,259) 6,259			皆減
公共小計	(4) 9	(325,688) 419,127	(3) 7	(124,616) 380,316	90.7
県単治山	(5) 10	(29,568) 43,840	(5) 8	(33,732) 49,732	113.4
合計	(9) 19	(355,256) 462,967	(11) 15	(158,348) 430,048	92.9

(注) 括弧書きは前年度からの繰越分で内数

イ 森林病虫害の防除

(ア) 松くい虫被害

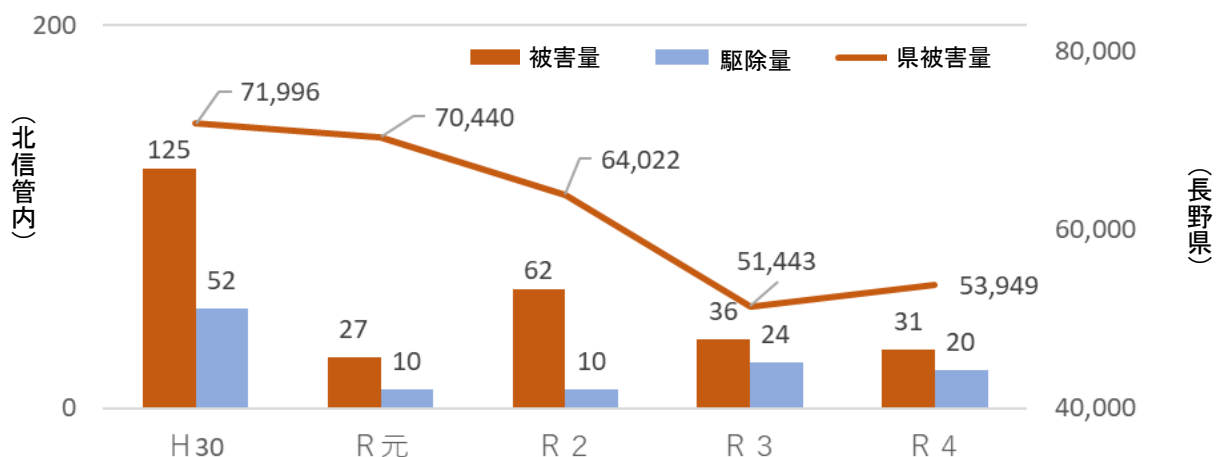
管内の松くい虫被害は、昭和 60 年に中野市、山ノ内町で被害が確認され、現在までに飯山市、木島平村を含む 4 市町村で被害が確認されている。

管内はアカマツ林（637ha：管内民有林の 1.3%）が少ないため被害量も少ないが、被害区域の分散等により終息には至っていない。

被害対策は、被害木の早期発見、適期駆除、間伐等の森林整備などにより、松林を健全な状態で維持するよう対策を推進している。

（管内では薬剤による防除は実施していない）

【被害量の推移】



【市町村別被害量及び駆除量の推移】

(単位: m³)

区分	H30 年度		R 元年度		R2 年度		R3 年度		R4 年度	
	被害量	駆除量	被害量	駆除量	被害量	駆除量	被害量	駆除量	被害量	駆除量
中野市	94	50	11	10	47	10	30	24	25	20
飯山市	12		6		5		6		6	
山ノ内町	10		10		10		0		0	
木島平村	9	2	0		0		0		0	
計	125	52	27	10	62	10	36	24	31	20
長野県被害量	71,996		70,440		64,022		51,443		53,949	

(イ) カシノナガキクイムシ等その他病虫害

カシノナガキクイムシが、ナラ類の樹幹内に穿孔する際に「ナラ菌」を持ち込み、樹幹内で繁殖して枯れる症状の「ナラ枯れ」が、平成 16 年度に飯山市富倉で確認された。平成 21 年度には被害がピークとなり管内全域に拡大したが、人家やライフライン沿いの駆除を行いながら経過を観察した結果、現在では被害量が減少している。

【被害の推移】

(単位: 本)

区分	H21 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
被害量 (本)	11,428	11	2	19	111	196

3 木を活かした力強い産業づくり

(1) 林業経営団地の設定・林内路網整備等の推進

ア 林内路網の整備

森林の適正な管理に不可欠な既存林道の改良等を計画的に実施するとともに、間伐材等森林資源の有効利用のため、高性能林業機械等が利用できる林業専用道・森林作業道の整備を推進している。

【林道・森林作業道の現況と目標】

(単位:路網密度m/ha)

区 分		目標延長 (km)	現況延長 (km)	進捗率 (%)
管内	林 道	318	314	98.7
	森林作業道	211	282	133.6
	公 道	386	381	98.7
	路網密度	18.6	19.9	107.0
県	林 道	4,973	4,909	98.7
	森林作業道	3,497	4,071	116.4
	公 道	5,959	5,928	99.5
	路網密度	21.1	21.7	102.8

(注) 1 目標延長は、旧森林づくり指針(H22-R4)で示された令和2年度時点のものである。

2 現況延長は、令和4年3月31日現在のものである。

【林道等事業の実績と計画】

事業名	令和4年度実績		令和5年度計画		前年比 (%)
	路線数	事業費 (千円)	路線数	事業費 (千円)	
林道改良	(1)	(9,240)	(1)	(10,960)	(118.6)
	2	27,280	2	28,560	104.7
その他(保全整備・PCB・点検診断)	4	10,967	(1)	(2,629)	
森 林 作業道 開 設	直 結	11,418	2	3,168	27.7
	造 林	30,633	23	62,250	203.2
	小 計	42,051	25	65,418	155.5
計	(1)	(9,240)	(2)	(13,589)	
	17	80,298	29	98,785	123.0

(注) 1 林道改良及びその他(保全整備・PCB・点検診断)の事業費は補助対象事業費で、上段括弧書きは前年度からの繰越分で下段の内数

2 森林作業道開設の「直結」は森林整備に直結する作業道整備事業により、「造林」は信州の森林づくり事業に該当するもの。

3 森林作業道開設の「造林」の事業費は、補助対象事業費で計画はm当り2,500円で算出。

イ 林業経営の推進

森林経営計画の策定と森林境界の明確化を進め、計画的な森林整備を推進する。

(ア) 森林経営計画の策定状況

(単位：ha)

市町村名	区分	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	計
中 野 市	団地数	2	1	1	0	1	5
	面積	115	73	70	0	143	401
飯 山 市	団地数	1	0	0	2	0	3
	面積	55	0	0	94	0	149
山ノ内町	団地数	1	2	3	1	2	9
	面積	72	238	601	386	235	1,532
木島平村	団地数	2	3	0	1	1	7
	面積	186	266	0	148	50	650
野沢温泉村	団地数	0	2	1	0	0	3
	面積	0	69	59	0	0	128
栄 村	団地数	4	1	2	0	2	9
	面積	1,183	302	185	0	135	1,805
合 計	団地数	10	9	7	4	6	36
	面積	1,611	948	915	628	563	4,665

(注)令和4年度末まで有効な計画(存続期間5ヵ年)を記載

(イ) 森林境界の明確化状況

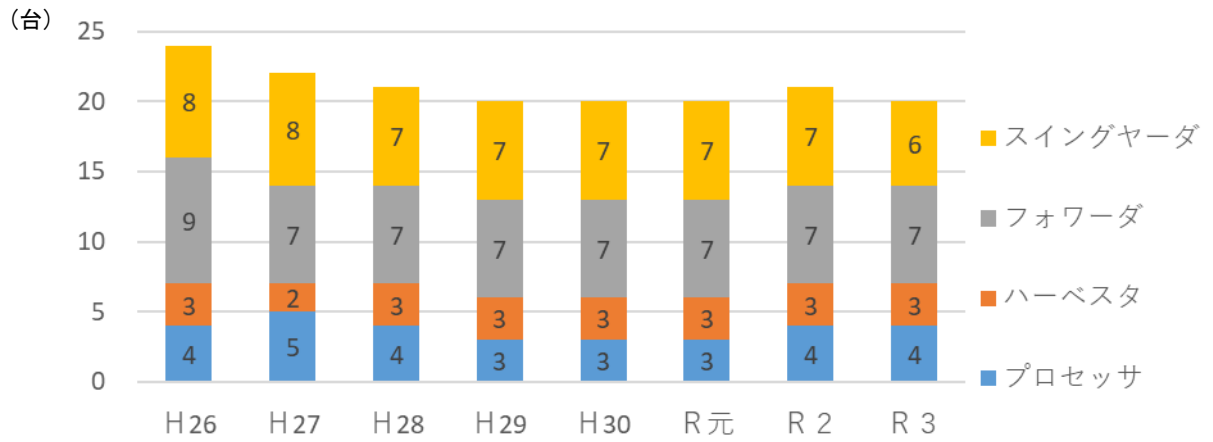
(単位：ha)

市町村名	H21～H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	計
中 野 市	500	100	52	64	66	49	831
飯 山 市	333	0	80	96	92	49	650
山ノ内町	1,635	140	58	50	75	0	1,958
木島平村	643	75	49	60	42	49	918
野沢温泉村	417	25	35	33	65	65	640
栄 村	369	0	0	0	0	0	369
合 計	3,897	340	274	303	340	212	5,366

ウ 林業経営の改善

労働生産性の向上や労働安全性の確保を図るため、高性能林業機械等の導入を推進する。

【高性能林業機械保有状況の推移】



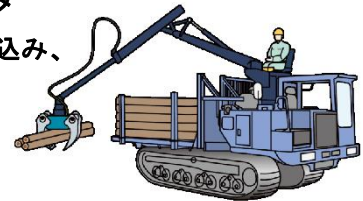
○プロセッサ

枝払い、玉切り、
集積作業の多工
程処理機械



○フォワーダ

材の積み込み、
運搬機械



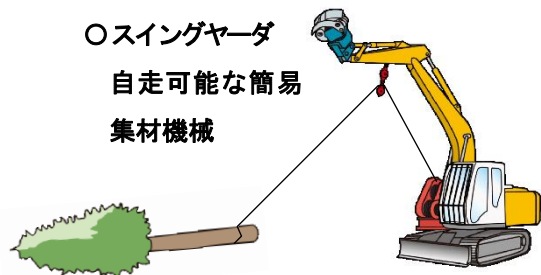
○ハーベスタ

伐倒、枝払い、玉
切りの多工程処
理機械



○スイングヤーダ

自走可能な簡易
集材機械



(2) 担い手対策の推進

これからの森林・林業を担う人づくりを進めるとともに、森林整備の担い手の確保に努めている。

【林業就業者数の推移】

(単位：人)

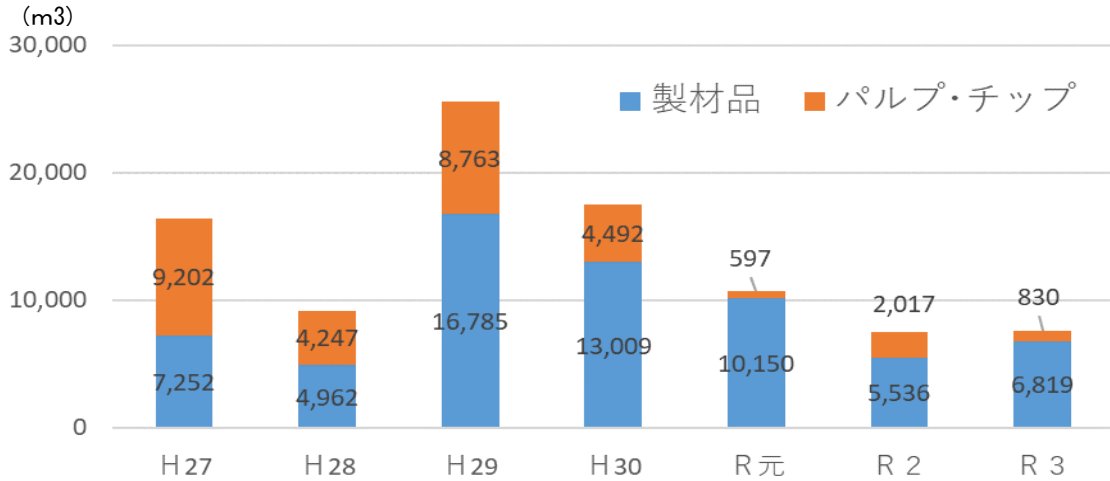
区分	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
森林組合	51	50	47	44	44	44
会社(林業)	12	4	9	13	10	15
会社(その他)	12	10	11	12	16	12
個人事業						
計	75	64	67	69	70	71
県全体	1,648	1,594	1,499	1,446	1,449	1,499

※ 林業事業者調査より抜粋

(3) 様々な用途での県産材需要の拡大

住宅以外への県産材利用を推進するため、広く県民が利用する施設等の木造・木質化や、木質ペレットストーブの導入等により利用拡大に取り組んでいる。

ア 管内の県産材の製材品出荷状況



イ 「子どもの居場所」木質空間整備事業の実施状況

(単位：千円)

年度	市町村	事業主体	補助金額	実施内容
R3	中野市	中野市	2,054	保育園へ県産材調度品・おもちゃを設置
		長野トヨタ自動車(株)中野店	158	県産材フローリングのキッズコーナー設置
	計		2,212	
R4	中野市	学校法人 中野マリア幼稚園	360	県産材調度品・おもちゃを設置

ウ ペレットストーブ導入実績

(単位：台)

区分	～H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	計
中野市	18	1	2	1	1	23
飯山市	21	1	1	3	1	27
山ノ内町	10	0	1	0	1	12
木島平村	27	3	2	3	2	37
野沢温泉村	13	2	0	1	1	17
栄村	27	0	0	0	0	27
計	116	7	6	8	6	143

4 森林を支える豊かな地域づくり

(1) 森林資源の活用・交流促進

ア 森林（もり）の里親

森林の整備と活用に意欲を有する地域等と、森林保全活動に熱心な企業を県が仲介し、企業、住民、行政等のパートナーシップにより、森林整備や相互の交流の促進に努めている。

^{もり}【森林の里親促進事業の契約状況（契約が継続しているもの）】 (R5.4 現在)

市町村	里親 (支援企業)	里子	契約地	現契約 (当初契約)	契約期間	契約 面積 (ha)	支援内容
中野市	(株)テレビ信州	中野市・ 中野市高社 四区共有林	四区共有 (マイチャ ンの森)	H30. 11. 1	H30. 11. 1 H31. 3. 31 (1年間の自動 更新)	74. 87	資金による 支援
木島平村	・(株)伊藤忠建材 ・NPO 法人森のライフ スタイル研究所	木島平村	カヤの平 (伊藤忠建材 地球樹の森)	R4. 9. 1 (H30. 9. 1)	3年間 R4. 9. 1 R7. 8. 31	5. 00	森林整備資 材支援及び 地域交流
	(株)モリアゲ	木島平村	カヤの平 (牧草地の跡 地の植樹)	R5. 4. 1	3年間 R5. 4. 1 R8. 3. 31	2. 00	森林整備資 材支援及び 地域交流
計	3か所					81. 87	

イ 木育推進事業

次代を担う子供達や地域住民が里山や地域材に関心を寄せ、木材利用及び森林づくりへの理解と協力を得るための取り組みを支援する。

【木工体験活動支援の実施状況】 (R5.4 現在)

年度	市町村	事業主体	補助金額 (千円)	実施内容
R元	山ノ内町	里山ようちえん おやまのおうち	36	木工体験活動
R4	木島平村	木島平中学校	187	木工体験活動（ベンチ・整理棚等の設置）

(2) 野生鳥獣対策の推進

野生鳥獣と人との軋轢を軽減させるため、野生鳥獣による被害対策を地域住民が自ら考え実施することにより、野生鳥獣が集落に出没しにくい環境を構築する。

防除対策・捕獲対策・生息環境対策を各鳥獣の特性及び地域の実情に合わせ、補助事業等の導入と絡めて総合的に進める。

被害対策の実施に当たって、北信地区野生鳥獣被害対策チームが必要な助言を行っていく。

【主な加害鳥獣と農林業被害額の推移】

(単位：千円)

区 分	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R3/R2
ムクドリ	1,172	855	686	851	874	10%
カラス	2,200	4,337	4,292	4,137	304	7%
その他	1,385	1,042	2,345	2,753	1,387	54%
鳥 類 計	4,757	6,234	7,323	7,741	2,565	34%
ニホンカモシカ	6,378	5,359	5,385	6,283	5,963	95%
イノシシ	3,143	3,354	4,018	6,817	3,406	50%
ニホンザル	8,678	8,066	5,663	4,198	4,256	101%
ツキノワグマ	18,175	32,756	27,609	40,353	19,598	49%
ニホンジカ	17,207	14,608	5,509	8,227	18,434	224%
その他	3,849	4,901	4,148	4,425	2,366	53%
獣 類 計	57,980	69,044	52,332	70,303	54,023	77%
合 計	62,737	75,278	59,655	78,044	56,688	73%

※被害額は、農業と林業の合計である。

5 長野県森林づくり県民税

(1) 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山整備

防災・減災の観点での里山の森林整備やライフライン等保全のための危険木の伐採、里山整備利用地域制度を活用した住民協働による里山の整備等を推進している。

【防災・減災のための里山等の整備事業実施状況】

(単位：千円)

年度	事業主体	補助金額	実施内容
R 3	NPO フォレスト工房もくり	120	間伐 0.18ha、作業道 94m
	山ノ内町	1,960	危険木の除去 34 本
	栄村	4,851	危険木の除去 285 本
	計	6,931	
R 4	北信州森林組合	10,408	間伐 13.71ha、作業道 1,160m
	栄村森林組合	5,477	間伐 7.04ha、作業道 1,395m
	栄村	500	危険木の除去 32 本
	計	16,385	

【県民協働による里山整備利用事業実施状況】

(単位：千円)

年度	市町村	事業主体	補助金額	実施内容
R 3	中野市	高社山四区里山整備 利用推進協議会	224	刈払機安全講習会開催
	中野市	篠井・北大熊里山整備 利用推進協議会	66	植栽地下刈、植栽木へのプレート設置
	山ノ内町	湯田中地区里山整備 利用推進協議会	512	支障木除去、安全講習会開催、緩衝帯防 草マット購入・設置、 「一茶の散歩道」案内看板設置
	計		802	
R 4	中野市	高社山四区里山整備 利用推進協議会	77	共有林刈払い作業実施 刈払機安全講習会開催
	中野市	篠井・北大熊里山整備 利用推進協議会	194	晋平古道補修作業実施 小冊子「北大熊の今昔」制作
	山ノ内町	湯田中地区里山整備 利用推進協議会	252	大苗木(ハウチワカエデ)植栽 刈払い機購入
	計		523	

(2) 自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用

(地産地消による木の香る暮らしづくり事業)

子どもの居場所や民間のオフィス・店舗の木質化、未利用木材の活用の仕組みづくり等を推進する。

【子どもの居場所木質空間整備事業実施状況】

3(3)イ 参照

【木工体験活動支援事業実施状況】

4(1)イ 参照

【県産材公共サイン作成事業実施状況】

(単位：千円)

年度	事業主体	補助金額	実施内容
R 4	山ノ内町	784	志賀高原セラピーロード、横手山

(3) 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用

学校林の整備及び活動に必要な施設・簡易設備の導入や観光地の景観に適合した森林の整備、森林セラピー基地の整備等による森林の利活用を推進する。

【学校林等利活用促進事業実施状況】

(単位：千円)

年度	事業主体	補助金額	実施内容
R 2	下高井農林高校	59	学校林活動に活用する資機材（丸のこ等）の譲与
R 3	下高井農林高校	126	学校林活動に活用する資機材（タープ等）の購入

【観光地における景観形成のための森林等の整備実施状況】

(単位：千円)

年度	事業主体	補助金額	実施内容
R 2	山ノ内町	1,475	R292 沿いの眺望確保のための支障木伐採
R 3	山ノ内町	1,782	R292 沿いの眺望確保のための支障木伐採
	野沢温泉村	1,860	つつじ山における眺望確保のための支障伐採
	計	3,642	
R 4	山ノ内町	1,403	琵琶池遊歩道眺望確保

【森林セラピー推進支援事業実施状況】

(単位：千円)

年度	事業主体	補助金額	実施内容
R 2	飯山市	780	修景林間整備、歩道整備
R 3	飯山市	504	危険木除去、ベンチ・看板の設置
R 4	飯山市	220	案内板補修

(4) 市町村に対する財政調整的視点での支援

財政調整を図るための制度として、市町村が地域固有の重要課題に対応する取り組みを支援してきた。令和5年度からの第4期森林税活用事業では「市町村森林整備支援事業」として事業内容をメニュー化して実施する。

【森林づくり推進支援金事業実施状況】

(単位：千円)

年度	事業主体	補助金額	実施内容
R 3	中野市	1,042	遊歩道の木橋修繕
	飯山市	946	県産材木製ベンチ購入
	山ノ内町	1,224	植樹用苗木購入
	木島平村	482	県産材遊具の購入
	野沢温泉村	515	県産材木製ベンチ購入
	栄村	902	緩衝帯整備
	計	5,111	
R 4	中野市	1,070	緩衝帯整備
	飯山市	978	県産材展示台、パーテーション購入
	山ノ内町	1,248	緩衝帯整備
	木島平村	488	県産材ベンチ購入
	野沢温泉村	525	県産材商品棚購入
	栄村	902	緩衝帯整備
	計	5,211	